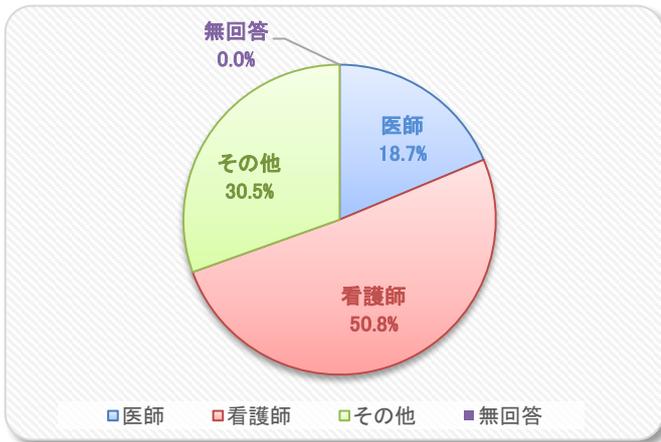


①拠点病院内 医療従事者向け

H27年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

2) 職種

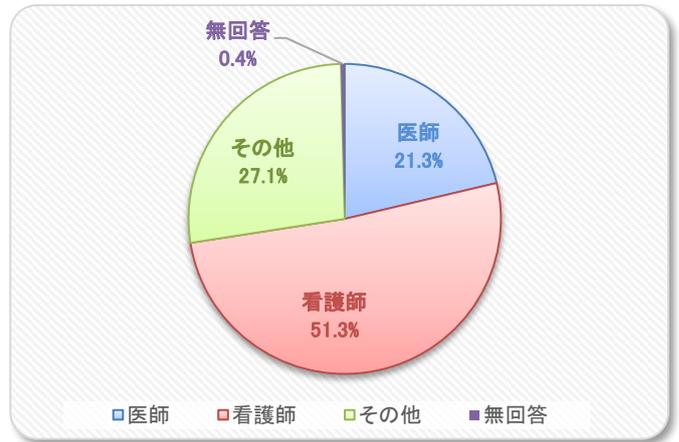


	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答
対象	305	18.7%	50.8%	30.5%	0.0%
がん診療連携拠点病院	305	57	155	93	0
合計	305	57	155	93	0

H30年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

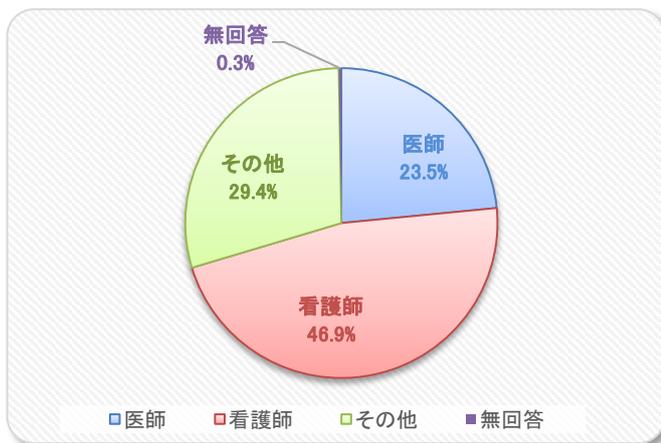
2) 職種



	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答
対象	277	21.3%	51.3%	27.1%	0.4%
がん診療連携拠点病院	277	59	142	75	1
合計	277	59	142	75	1

R3年度

2) 職種

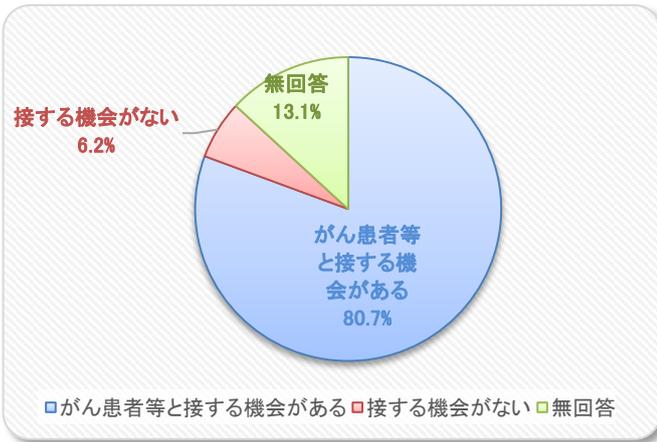


	サンプル数	医師	看護師	その他	無回答
対象	371	23.5%	46.9%	29.4%	0.3%
がん診療連携拠点病院	371	87	174	109	1
合計	371	87	174	109	1

H27年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

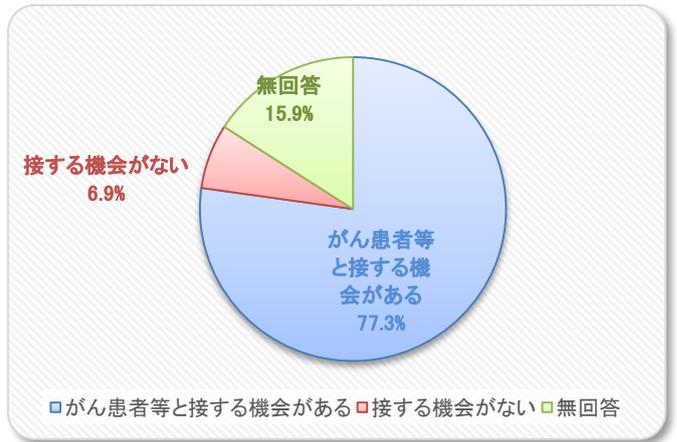
3)業務内容



H30年度

Q1.「アンケート回答者」についてお伺いします。

3)業務内容

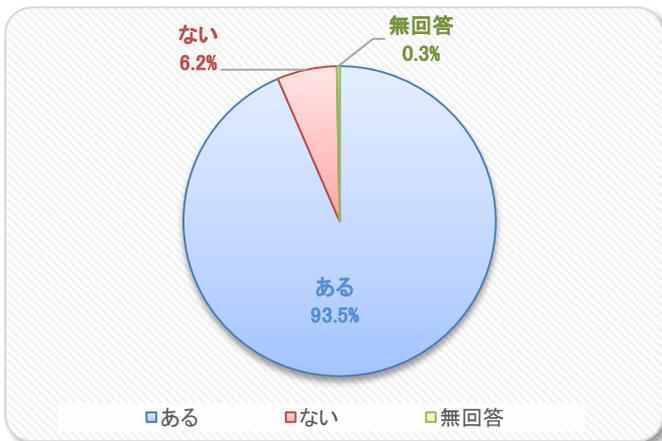


	サンプル数	ある 接する 患者等 と 機会が	ない する 機会が	無 回 答
対象	305	80.7%	6.2%	13.1%
がん診療連携拠点病院	305	246	19	40
合計	305	246	19	40

	サンプル数	ある 接する 患者等 と 機会が	ない する 機会が	無 回 答
対象	277	77.3%	6.9%	15.9%
がん診療連携拠点病院	277	214	19	44
合計	277	214	19	44

R3年度

3)がん患者と接する機会がありますか？

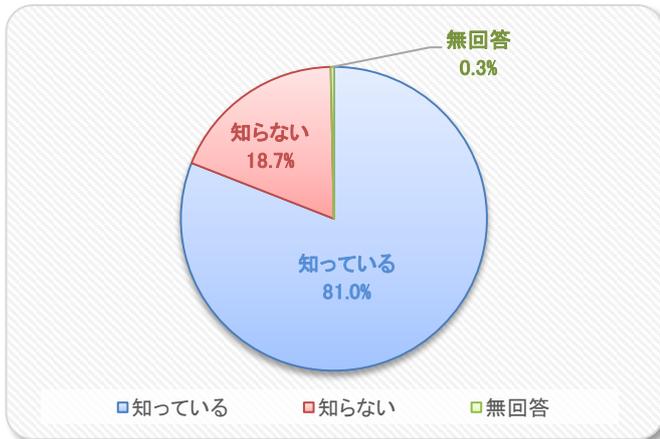


	サンプル数	ある	ない	無 回 答
対象	371	93.5%	6.2%	0.3%
がん診療連携拠点病院	371	347	23	1
合計	371	347	23	1

H27年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

1)がん相談支援センターを知っていますか

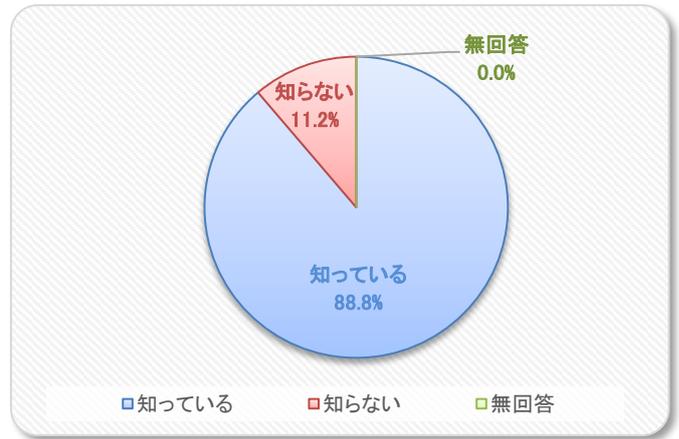


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	305	81.0%	18.7%	0.3%
がん診療連携拠点病院	305	247	57	1
合計	305	247	57	1

H30年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

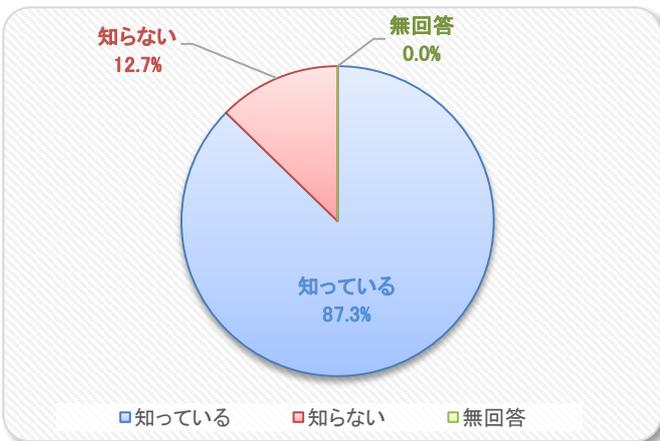
1)がん相談支援センターを知っていますか



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	277	88.8%	11.2%	0.0%
がん診療連携拠点病院	277	246	31	0
合計	277	246	31	0

R3年度

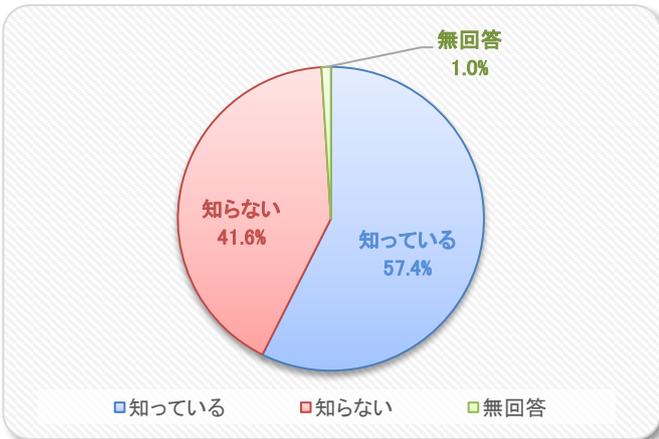
4)がん相談支援センターを知っていますか？



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	371	87.3%	12.7%	0.0%
がん診療連携拠点病院	371	324	47	0
合計	371	324	47	0

H27年度

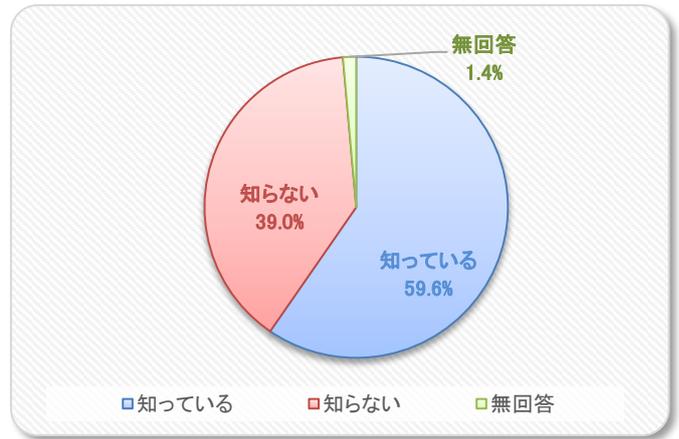
Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。
2)がん相談支援センターの業務を知っていますか



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	305	57.4%	41.6%	1.0%
がん診療連携拠点病院	305	175	127	3
合計	305	175	127	3

H30年度

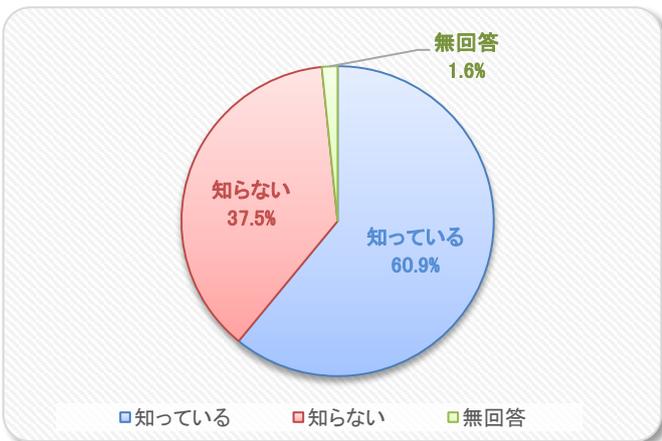
Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。
2)がん相談支援センターの業務を知っていますか



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	277	59.6%	39.0%	1.4%
がん診療連携拠点病院	277	165	108	4
合計	277	165	108	4

R3年度

5)がん相談支援センターの業務を知っていますか？

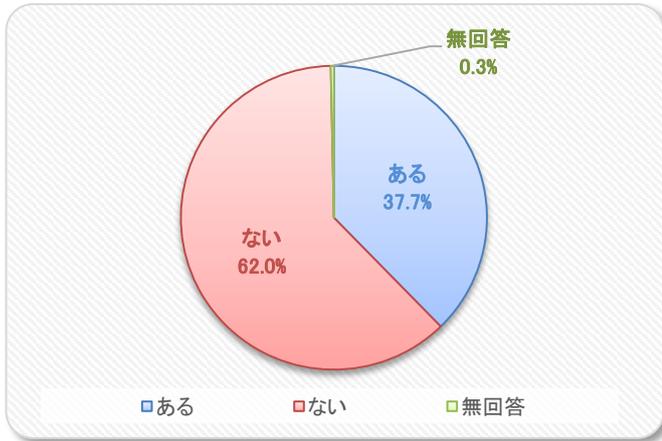


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	371	60.9%	37.5%	1.6%
がん診療連携拠点病院	371	226	139	6
合計	371	226	139	6

H27年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

3) がん相談支援センターと連携して、患者対応を行ったことがありますか

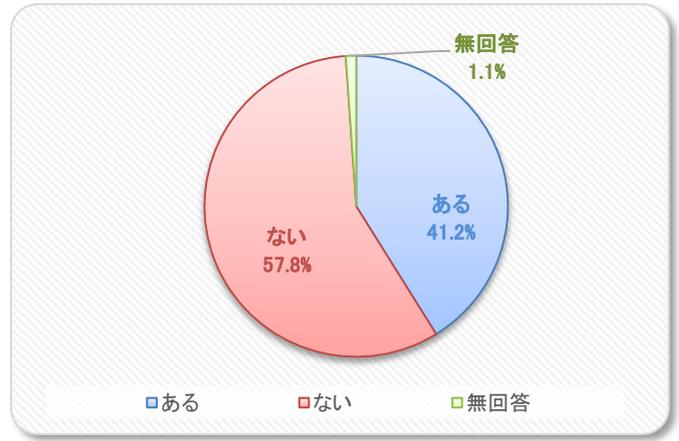


	サンプル数	ある	ない	無回答
対象	305	37.7%	62.0%	0.3%
がん診療連携拠点病院	305	115	189	1
合計	305	115	189	1

H30年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

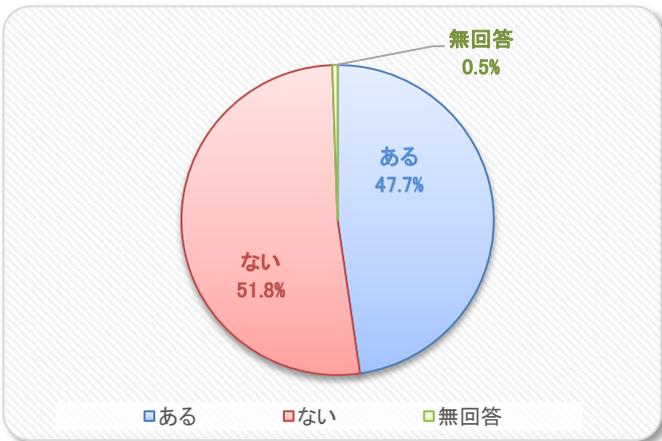
3) がん相談支援センターと連携して、患者対応を行ったことがありますか



	サンプル数	ある	ない	無回答
対象	277	41.2%	57.8%	1.1%
がん診療連携拠点病院	277	114	160	3
合計	277	114	160	3

R3年度

6) がん相談支援センターと連携して患者対応を行ったことがありますか？

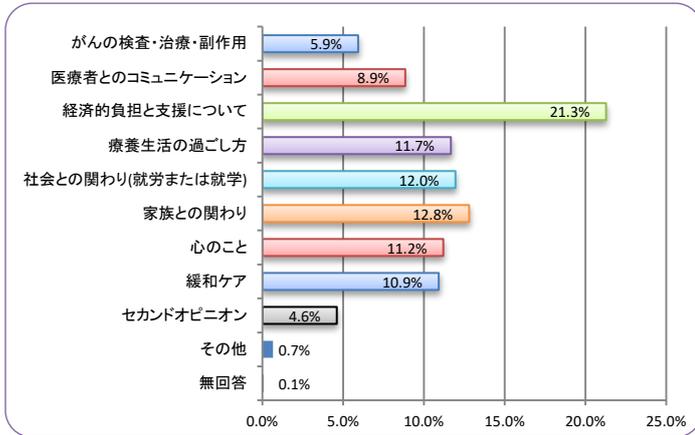


	サンプル数	ある	ない	無回答
対象	371	47.7%	51.8%	0.5%
がん診療連携拠点病院	371	177	192	2
合計	371	177	192	2

H27年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

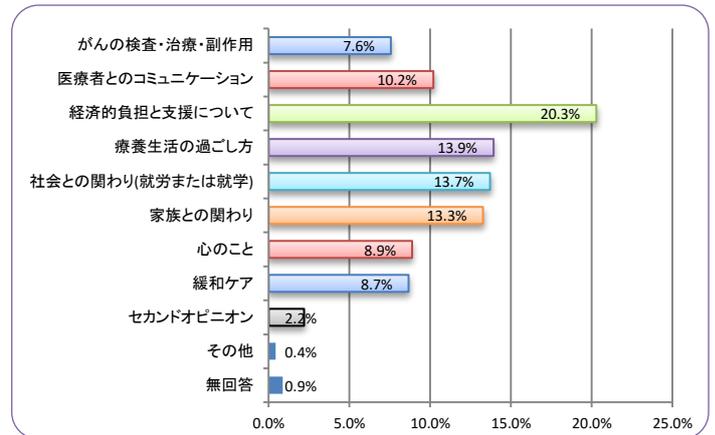
4) 以下の業務のうち、相談支援センターに力を入れてほしい項目にレをつけて下さい（複数回答）



H30年度

Q2.「がん相談支援センター」についてお伺いします。

4) 以下の業務のうち、相談支援センターに力を入れてほしい項目にレをつけて下さい（複数回答）



	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医療者とのコミュニケーション	経済的負担と支援について	療養生活の過ごし方	社会との関わり(就労または就学)	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答	項目合計
対象	305	5.9%	8.9%	21.3%	11.7%	12.0%	12.8%	11.2%	10.9%	4.6%	0.7%	0.1%	100.0%
がん診療連携拠点病院	305	63	94	226	124	127	136	119	116	49	7	1	1062
合計	305	63	94	226	124	127	136	119	116	49	7	1	1062

	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医療者とのコミュニケーション	経済的負担と支援について	療養生活の過ごし方	社会との関わり(就労または就学)	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答	項目合計
対象	277	7.6%	10.2%	20.3%	13.9%	13.7%	13.3%	8.9%	8.7%	2.2%	0.4%	0.9%	100.0%
がん診療連携拠点病院	277	69	93	185	127	125	121	81	79	20	4	8	912
合計	277	69	93	185	127	125	121	81	79	20	4	8	912

その他のご意見

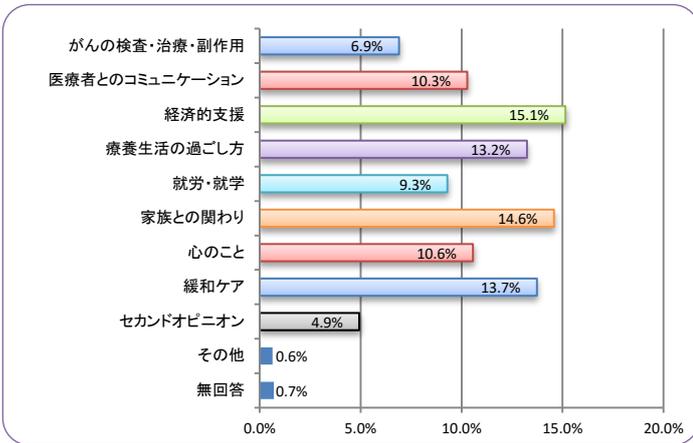
- 現状でのトータルサポートで十分だと感じている。
- 亡くなられた家族のケア

その他のご意見

- ACP
- 両立支援
- あまり人に相談しづらいようなことを聞いてほしい
- 化学療法をやめた時の治療方針への不安、対応
- 正しい情報へのアクセス
- 十分対応されていると思う

R3年度

7) がん相談支援センターに力を入れてほしい項目に☑をつけて下さい(複数回答可)



	サンプル数	がんの検査・治療・副作用	医療者とのコミュニケーション	経済的支援	療養生活の過ごし方	就労・就学	家族との関わり	心のこと	緩和ケア	セカンドオピニオン	その他	無回答	項目合計
対象	371	6.9%	10.3%	15.1%	13.2%	9.3%	14.6%	10.6%	13.7%	4.9%	0.6%	0.7%	100.0%
がん診療連携拠点病院	371	98	146	215	188	132	207	150	195	70	9	10	1420
合計	371	98	146	215	188	132	207	150	195	70	9	10	1420

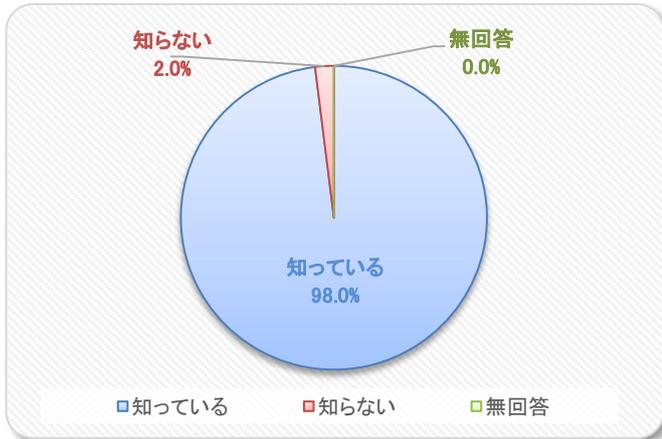
その他のご意見

- がん相談支援センターなど本人や家族が相談できることを知らない人が多い。センターの存在をもっと広めてほしい。
- がんに関わる様々な情報発信
- AYA世代
- 家族の介護と治療の両立
- 社会福祉サービスに関する情報の提供。
- 気軽に相談できる体制づくり。
- HBOC
- いつもお世話になっています。頼りにしています。
- 独立した組織となり、活動できること。

H27年度

Q4.「がんサロン・患者会等」についてお伺いします。

1)がん患者等の交流を目的とした「がんサロン」があることを知っていますか

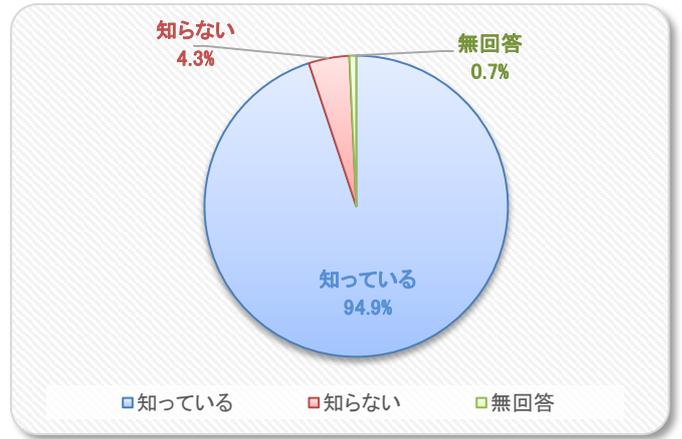


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	305	98.0%	2.0%	0.0%
がん診療連携拠点病院	305	299	6	0
合計	305	299	6	0

H30年度

Q4.「がんサロン・患者会等」についてお伺いします。

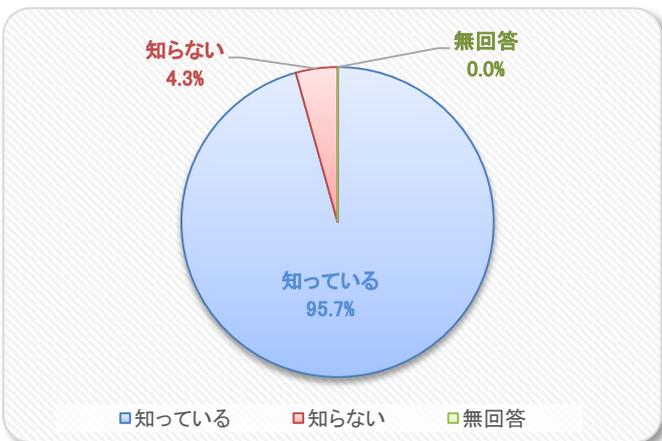
1)がん患者等の交流を目的とした「がんサロン」があることを知っていますか



	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	277	94.9%	4.3%	0.7%
がん診療連携拠点病院	277	263	12	2
合計	277	263	12	2

R3年度

8)がん患者の交流を目的とした「がんサロン」を知っていますか？

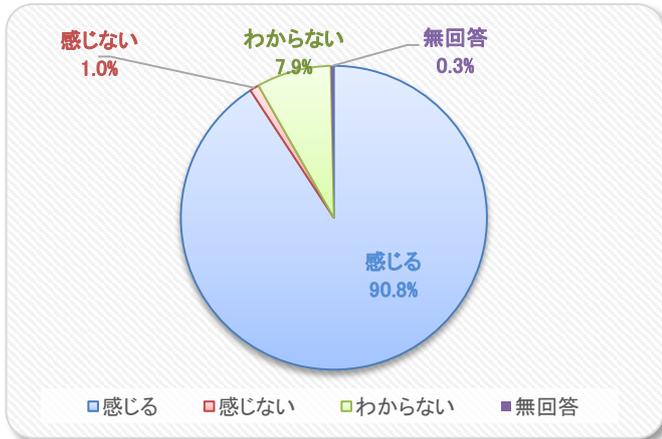


	サンプル数	知っている	知らない	無回答
対象	371	95.7%	4.3%	0.0%
がん診療連携拠点病院	371	355	16	0
合計	371	355	16	0

H27年度

Q4.「がんサロン・患者会等」についてお伺いします。

2)がん患者のピアサポート(がん患者同士の支え合い)の必要性を感じますか

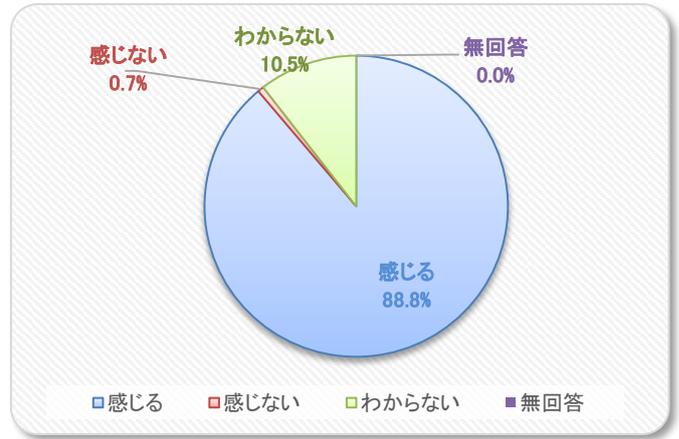


	サンプル数	感じる	感じるしない	わからない	無回答
対象	305	90.8%	1.0%	7.9%	0.3%
がん診療連携拠点病院	305	277	3	24	1
合計	305	277	3	24	1

H30年度

Q4.「がんサロン・患者会等」についてお伺いします。

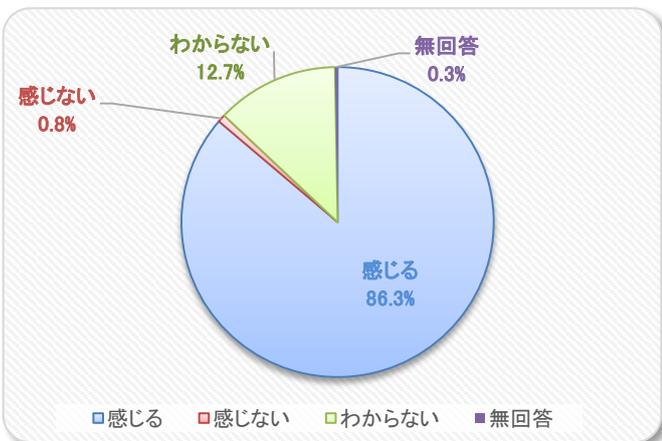
2)がん患者のピアサポート(がん患者同士の支え合い)の必要性を感じますか



	サンプル数	感じる	感じるしない	わからない	無回答
対象	277	88.8%	0.7%	10.5%	0.0%
がん診療連携拠点病院	277	246	2	29	0
合計	277	246	2	29	0

R3年度

9)がん患者のピアサポート(がん患者同士の支え合い)の必要性を感じますか?



	サンプル数	感じる	感じるしない	わからない	無回答
対象	371	86.3%	0.8%	12.7%	0.3%
がん診療連携拠点病院	371	320	3	47	1
合計	371	320	3	47	1

10) がん相談に関して課題等を感じていることはありますか？(自由記載より抜粋)

- 相談するタイミング。
- 受診希望を主治医に伝える役割のみになっている気がする。具体的な話を聞いて伝えてほしい。
- 患者が相談しやすい環境づくりが大切。
- 連携依頼のタイミング・方法が分からない。
- 終末期の過ごし方や今後のことについては躊躇してしまう。
- 就労しながら治療をしている方に必要な情報を提供できない。相談員に頼って良いのか分からない。
- 相談窓口があることを医療者側からもっと教えた方が良い。
- がん相談支援センターがあることを知らない方のほうが多い。どういうサポートができるのか、どういう選択ができるのか、情報提供が必要。
- 患者だけでなく家族のサポートも課題。
- がん相談員は心理的なストレスを抱えやすい業務にあたっている。相談員に対するサポート体制も充実させる必要がある。
- 自分で相談できる人とできない人がいるので介入の仕方を考えていく必要がある。
- がん相談支援センターの宣伝・周知の方法の検討。医療者が介入する基準の整備。
- コロナ禍で患者さん同士の交流も少なく、家族にも相談する機会も減ってきているため意思決定支援をサポートすることに課題を感じる。
- 限度額など経済的な情報提供が必要。
- 情報提供の方法としてパンフレットなどあったほうがわかりやすい。
- 遺伝子など、治療がたくさん増えているため情報が追いつかない。
- がん相談支援センターのことを医療者は知っているが、患者さんに伝えるためのツールがない。パンフレットなど、がんを扱っている病棟に置いてほしい。
- “緩和ケア”という言葉に対し、“ホスピス”といったイメージを強く抱く患者も多く認識を変えていくことに課題を感じる。
- がん相談員の人員不足を感じる。
- 高齢化、独居、認知症など、意思決定が自身でできない身寄りがない人が増えてきている。“がん”と診断をされてからでは対応が遅いのではないかと感じる。
- コロナ禍におけるWeb以外のがんサロン、ピアサポートのあり方。
- がん相談支援センターで、どのような内容、どのくらいの件数の相談があっているのかスタッフに周知できていない。支援センターで行うこと、現場で行うことの区別がわかりにくい。
- 患者、家族、地域の方にがん相談の支援センターについて認知してもらうことが重要。
- がん患者に関わるスタッフに業務内容やがん相談について知ってもらうことが必要。
- 地方(熊本市以外)での人材不足。
- 患者にどこまで話をしてよいのか他のスタッフとの意見の統一ができていないことがある。
- がん患者のスムーズな在宅への移行。
- 副作用に対するフォロー、連携。
- 血液内科疾患患者へ長期治療を行うことへの精神的サポート。
- 患者や家族から相談を受けた時に、すぐに面談対応できる体制作り。
- 在宅移行の際、本人の希望と家族のサポート力に差があることが多い。その時のサポート体制
- 専門的な知識が必要。

10) がん相談に関して課題等を感じていることはありますか？(自由記載より抜粋)

- 相談窓口があることを知らない、また知っているけど、どうしたらいいのかわからない患者・家族がいると感じる。
- 相談支援センターに案内し連携を図るが、「その後」がわからない。
- がんの進行が早い場合、心のケアも含め、さまざまな対応や対策が追いつかないことがある。
- 気になることを気兼ねせず相談できる窓口を作ってほしい。
- インターネットでの間違った情報に患者・家族が振り回されないようにすること
- コロナの中でどう支援していくか。
- あらゆる疾患が存在するなか、がんだけに特化しすぎると不都合が生じるのではないか
- 相談員は、生活・医療を支えるために必要な役割を担っているが、相談以外の業務、院内外での役割による負担が大きくなっている。
- 「ACPIについて」その結果がどこに反映されているのかわかりづらい。
- 相談を受ける側の連携システムがまだ不十分。緩和ケアチームと病棟や外来との連携が課題。患者はそれぞれの場でその都度同じ説明をしなければならない。
- それぞれの役割が断片的でつながりがうすい。もっと知識を得て在宅で過ごす患者のサポートできればよい。
- Dr.とPtの考え方が違う時のNsの関わり方。
- 就労の支援、本人の心のケア、家族の心のケア。
- 熊本県内にある「がん相談支援センター」によるオンラインでの情報交換会を頻回に行ってほしい。
- がん相談の質の向上。
- コロナ禍で人との交流する場が減っているため、困っていることがあっても相談できず悩んでいる方が多くいるのではないかと？Web相談などができるといい。
- 若年層(働き世代)への支援。